

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	27	都市基盤整備
基本方針		
<p>駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。</p>		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
優先整備地区事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備	次年度以降計画を見直す	A	A	A	現状のまま継続
中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	次年度以降計画を見直す	A	A	B	現状のまま継続
計画的な事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
都市計画道路の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
環境配慮型のまちづくり(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ

3 施策評価結果

<p>施策27「都市基盤整備」では、7事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「良好な居住環境の整備」などの5事業は、「計画どおり完了」であり、「大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備」、「中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討」については、当初予定されていた民間事業者の計画変更により、事業内容を再度調査・検討及び各関係機関等との調整が必要なことから、「次年度以降計画を見直す」としており、施策全体としては、概ね滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討」では、ガイドラインの検討内容に変更が生じることから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策27「都市基盤整備」については、一部に課題を残す、「中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討」では、必要な見直しを図りつつ、事業を推進していくこととしており、その他の事業については、順調に推移している。</p> <p>今後の方向性については、「良好な居住環境の整備」など羽村駅西口土地区画整理事業である5事業では、さらに事業を促進していくため、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていくこととし、その他の2事業については、引き続き「現状のまま継続」していくこととする。</p>

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(G-部)	○
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	重点事業No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	利便性の高い駅前市街地を再編することで、公園や緑地を計画的に配置し、都市施設と自然が調和した快適で、うるおいのある良好な居住環境の整備を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	事業計画変更の手続き	同左	同左	同左
	仮換地の指定	同左	同左	同左
	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左
	都市整備用地の購入	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左 (擁壁設置等事業費を計上)	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H
主事・主任職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	1,167,000	757,245	105,967	-
人件費(係長職)	28,000	28,000	28,000	28,000
人件費(主任・主事職)	19,130	19,130	19,130	19,130
総事業費(合計)	1,214,130	804,375	153,097	47,130
国庫支出金	88,000	47,600		
都支出金		16,200		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,126,130	740,575	153,097	47,130
財源内訳(合計)	1,214,130	804,375	153,097	47,130

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	14,344	円		
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	191,518	円		
ウ 成果(物)	整備面積	の 出来高	423,963	m ² における1 m ² のコストは	1,897	円

※ 対象者: 施行地区内計画人口

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
		羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備が始まり、今後の進展を図る上において、重要な局面にある。 個々の権利者ととともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

優先的に整備する地区において、平成27年度から本格的なハード事業に着手し、東京都都市づくり公社との平成27年度から平成29年度までの3ヶ年の業務委託契約における「建物等の移転」及び「道路築造工事」など、おおむね計画どおり整備の進展が図れた。
また8月には、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置工事に着手し、道路用地の確保及び関係権利者の移転先となる宅地を造成するため、平成30年9月の完了を目指して鋭意、推進に努めている。
これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、地区内居住者、市民を対象とした説明会の開催、建物移転では権利者への丁寧な説明、また情報紙まちなみを通じて、正確な情報の提供に努めた。
事業期間、資金計画等の見直しに関しては、新たな特定財源確保等を視野に、財務担当との調整を図りつつ、事業計画変更の事務手続きに向けて、現事業計画における期間満了(平成33年度)を踏まえた見直しを基本として、東京都など関係機関との協議・調整を進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	757,245	0	757,245	614,972	81.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 34件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約75m ○建物等の移転 23棟	○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 34件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m ○建物等移転 22棟

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている)	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。

社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、新たな補助金導入に向けた検討を行う。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	優先整備地区事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	平成15年	その他	自治事務	業務委託(外部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	しらうめ保育園周辺、羽村駅前周辺、羽村大橋周辺、川崎一丁目エリアを優先的に整備する地区として、関係権利者の協力を得ながら、建築物などの移転を計画的に進めるとともに、工事区域周辺の住民に対し丁寧な説明に努め、効率的な事業の推進を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	優先整備地区の仮換地指定 優先整備地区の移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施 ※事業費については、施策No. 27-1に含まれます。	同左 同左 羽村大橋周辺 都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左 同左 同左	同左 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

① 指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備が始まり、今後の進展を図る上において、重要な局面にある。 個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

② 活動実績

優先的に整備する地区において、平成27年度から本格的なハード事業に着手し、東京都都市づくり公社との平成27年度から平成29年度までの3ヶ年の業務委託契約における「建物等の移転」及び「道路築造工事」など、おおむね計画どおり整備の進展が図られている。
また8月には、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置工事に着手し、道路用地の確保及び関係権利者の移転先となる宅地を造成するため、平成30年9月の完了を目指して鋭意、推進に努めている。
これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、地区内居住者、市民を対象とした説明会の開催、建物移転では権利者への丁寧な説明、また情報紙まちなみを通じて、正確な情報の提供に努めている。

③ 投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H

④ 事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<p>【しらうめ保育園周辺】 仮換地の指定 4件 道路築造工事 1件</p> <p>【羽村駅前周辺】 仮換地の指定 2件</p> <p>【羽村大橋周辺】 仮換地の指定 4件 道路築造工事 1件 都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約75m 建物等の移転 6棟</p> <p>【川崎一丁目エリア】 仮換地の指定 24件 道路築造工事 1件 建物等の移転 17棟</p>	<p>【しらうめ保育園周辺】 仮換地の指定 4件 道路築造工事 1件</p> <p>【羽村駅前周辺】 仮換地の指定 2件</p> <p>【羽村大橋周辺】 仮換地の指定 4件 道路築造工事 1件 都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m 建物等の移転 6棟</p> <p>【川崎一丁目エリア】 仮換地の指定 24件 道路築造工事 1件 建物等の移転 16棟</p>

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<p>妥当性(必要性)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>効率性(手法)</p> <p><input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている)</p>	A
<p>有効性(成果)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</p>	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。
社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、新たな補助金導入に向けた検討を行う。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備		平成 26 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	都市計画課					
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	重点事業No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	羽村駅東口周辺の大規模商業施設の出店に伴い、道路や公園などの周辺都市環境の整備を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	大規模商業施設及び警視庁等関係機関との整備についての協議・調整 ※事業の進捗状況に合わせ、事業費を算出	同左 大規模商業施設周辺道路の改修(事業者施工分完了後、市施工分へ)		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	51H	1人	10H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				
人件費(係長職)	254	50		
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	254	50		
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	254	50		
財源内訳(合計)	254	50		

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	イオンタウンについては、警視庁との事前協議と実査を経て交通協議が整ったところであるが、計画の変更に伴い、改めて関係各部が緊密に連携して情報収集と共有を図っていく。

②活動実績

平成26年度より実施していた警視庁との交通協議及び道路設計協議については、平成29年4月4日に終了したが、計画の変更により、引き続き情報収集と関連機関との調整を図る必要となった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○大規模商業施設周辺道路の改修		○開発事業者との調整

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性() <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性() <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性() <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

事業の計画が変更されたことから、改めて情報収集や関連機関と調整を図って行く必要が生じた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

事業の計画が変更されたことから、改めて情報収集や関連機関と調整を図って行く。道路の安全対策等に向けて警察協議を行った。この協議内容は次の計画に活かしていく。

【今後の取組方針】

事業の計画変更により、改めて関係各部が緊密に連携して情報収集と共有を図り、企業誘致に向けた支援に取り組んでいく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			都市計画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課	産業振興課					
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	重点事業No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	羽村駅周辺等の有効な土地利用や都市基盤の再整備について調査・研究し、中心市街地としてのにぎわいのあるまちなみの創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等		中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	まちづくりガイドラインの策定	まちづくりガイドラインの運用 ※事業費はガイドラインの策定内容により決定

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120H	1人	120H	1人	120H	1人	120H
主事・主任職	1人	120H	1人	120H	1人	120H	1人	120H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	0	0	-	-
人件費(係長職)	597	597	597	597
人件費(主任・主事職)	408	408	408	408
総事業費(合計)	1,005	1,005	1,005	1,005
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,005	1,005	1,005	1,005
財源内訳(合計)	1,005	1,005	1,005	1,005

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

内部検討委員会を4回開催し、駅前の現状把握・課題、まちづくりガイドラインの考え方などの整理に取り組んだ。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0		0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	120 H
主事・主任職	1人	120 H	1人	120 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○内部検討委員会 3回開催(委員会内容取りまとめ)		○内部検討委員会 4回開催(継続審議)

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 (手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 (成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

ガイドラインの検討内容について変更が生じることから、再度の調査等が必要であることから、計画の見直しが必要となり成果については、当初の事業量に達していない。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

神明台2丁目の大規模商業施設の計画が変更になるなど、検討環境の変化もあったことから、継続して検討する必要があるため、次年度以降も委員会において検討し、取りまとめは次年度以降に行うことに変更した。

【今後の取組方針】

今年度に引き続き庁内の委員会での検討を行い、原案作成を行っていく。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	計画的な事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(G-部)	○
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	重点事業No. 5

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	移転実施計画に沿い、計画的かつ効率的な事業を推進し、工期の短縮に向けて、集団移転などの新たな手法の導入に取り組みます。また、事業期間と資金計画の見直しを行い、事業計画変更の法定手続きを進めるとともに、補助金制度を活用した財源の確保に努めます。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	事業計画変更の手続き	同左	同左	同左
	仮換地の指定	同左	同左	同左
	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左
	都市整備用地の購入			
	※事業費については、施策No. 27-1に含まれます。	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備が始まり、今後の進展を図る上において、重要な局面にある。 個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

優先的に整備する地区において、平成27年度から本格的なハード事業に着手し、東京都都市づくり公社との平成27年度から平成29年度までの3ヶ年の業務委託契約における「建物等の移転」及び「道路築造工事」など、おおむね計画どおり整備の進展が図れた。
また8月には、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置工事に着手し、道路用地の確保及び関係権利者の移転先となる宅地を造成するため、平成30年9月の完了を目指して鋭意、推進に努めている。
これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、区内居住者、市民を対象とした説明会の開催、建物移転では権利者への丁寧な説明、また情報紙まちなみを通じて、正確な情報の提供に努めた。
事業期間、資金計画等の見直しに関しては、新たな特定財源確保等を視野に、財務担当との調整を図りつつ、事業計画変更の事務手続きに向けて、現事業計画における期間満了(平成33年度)を踏まえた見直しを基本として、東京都など関係機関との協議・調整を進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 34件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約75m ○建物等の移転 23棟	○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 34件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m ○建物等移転 22棟

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 () <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 () <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている)	A
有効性 () <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。
社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、新たな補助金導入に向けた検討を行う。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	都市計画道路の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	平成 15年	その他	自治事務	業務委託(G部)	○
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	重点事業No. 6

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	都市計画道路3・4・12号線の整備に優先的に取り組むため、東京都が施行する羽村大橋拡幅工事との調整を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	都市計画道路3・4・12号線の用地確保	同左	同左	同左
	東京都など関係機関との都市計画道路3・4・12号線整備に向けた調整	同左	同左	同左
	※事業費については、施策No. 27-1に含まれます。	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
		羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備が始まり、今後の進展を図る上において、重要な局面にある。 個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

優先的に整備する羽村大橋周辺地区における都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置については、計画どおり、8月に住民等への説明会を実施し、工事に着手した。
引き続き、道路用地の確保及び関係権利者の移転先となる宅地を造成するため、平成30年9月の完了を目指して順調に工事を進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置 約75m	○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置 約100m

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 (手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市職員、現場代理人等による進行管理会議を逐次実施し、事業の効率化を図った)	A
有効性 (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備を計画的・効率的に進め、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するため、擁壁の設置を行うなど、着実な事業の進展を図った。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

都市計画道路3・4・12号線の整備に優先的に取り組むためには、東京都が施工する羽村大橋拡幅工事との調整が必要なため、引き続き東京都など関係機関との協議を進めて行く。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	環境配慮型のまちづくり(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)	平成 23 年	その他	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	重点事業No. 7

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力のある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	「羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画」による低炭素型のまちづくりや緑地保全など、環境配慮型事業の推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証	同左	同左	同左
	稲荷緑地再生	同左	同左	同左
	事業環境に配慮したまちづくり活動	同左	同左	同左
	※事業費については、施策No. 27-1に含まれます。			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	24 H	1人	24 H	1人	24 H	1人	24 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	82	82	82	82
総事業費(合計)	82	82	82	82
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	82	82	82	82
財源内訳(合計)	82	82	82	82

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 1 円
 イ 対象者 4,200 人における1人あたりのコストは、 0 円
 ウ 成果(物) 整備面積 の 出来高 423,963 m² における1 m² のコストは 0 円
 ※ 対象者: 西口地区の計画人口

Do【実行】

5.実施結果

- 計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の実施計画に基づき計画事業を進めた。
 ・ウッドチップ舗装路の修繕、管理、効果の検証を継続して行った。
 ・区画道路の整備にあわせ、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設し、環境に配慮した工事を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	1人	24 H	1人	24 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 ○地下水涵養のための雨水浸透トレンチの敷設	⇒ ○ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 ○地下水涵養のための雨水浸透トレンチの敷設

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (・ウッドチップ舗装の耐久性の検証を行う ・環境に配慮した工事を実施している)	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成28年度に引き続き、ハード整備を計画的に進め、建物等の移転により、区画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備など着実な事業の進展を図り、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設し、環境に配慮した工事を実施した。

Action【改善】

8.今後の方向性

- 現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

ウッドチップ舗装については、経年劣化等による剥離や摩耗などの状況から、将来的な事業進捗の中で、公園の園路やベンチの下などへの活用の検討を行う。

【今後の取組方針】

本事業は、土地区画整理事業を基幹事業としている計画であり、基幹事業の進捗にあわせて成果が表れるため、今後も引き続き環境に配慮した取り組みとして、公園緑地の設置や稲荷緑地の宅地化された部分の緑地復元、街路等へのLED照明の設置など、土地区画整理事業の進捗に沿って進めていく。